

平成30年度君津地域医療構想調整会議 部会における議論について

1. 日時・場所

①平成30年10月17日（水）午後7時から午後8時00まで 東京ベイプラザホテル

②平成31年1月21日（月）午後7時から午後8時30まで 君津健康福祉センター

2. 参加者

医療圏内の医療機関関係者約20名、県・地区医師会、健康福祉センター及び県庁

3. 主な議題

議題（1）病床機能報告に係る定量的基準の導入に向けた検討について

議題（2）医療機能別病床数の算定方法に係る先行事例について

4. 議題（1）病床機能報告における定量的基準の導入についての主な意見

- ・ 埼玉県方式で算出された機能分類が千葉県の実態や実情にあっていると感じる。君津圏域では埼玉県方式で示されているとおりに、急性期機能が不足すると思われる。
- ・ 回復期機能の病棟の稼働について、季節性により変動があることが前提だが、もっと機能していくためには、病院間の連携が必要である。軽症の高齢者の救急搬送が今後増えてくることが予想され、そういった患者に対応するための地域包括ケア病棟の働きが重要になってくる。

5. 議題（2）医療機能別病床数の算定方法に係る先行事例について

- ・ 急性期で一旦受けても、自宅への受入調整が困難であったり、病院間の連携の問題により病棟内で患者が滞留し、慢性期となる患者がいる。
- ・ 埼玉県方式では、内科系の病棟について、高度の治療を行っているものの手術件数などの要件を未満たさないため、回復期の評価を受けている。内科系の評価を工夫してもらいたい。
- ・ 整形外科について、整形外科では転院が難しく、入院が長期化する傾向がある一方で、手術内容は急性期であると感じているので、病棟の評価が回復期の評価を受けることに懸念がある。